

(2026年8月7日発表)

8月15日 戦没者を追悼し平和を祈念する式典の開催

【市長の出席 有】

静岡市は、先の大戦における戦没者を追悼し、平和を祈念するため、8月15日(土)にグランシップで「戦没者を追悼し平和を祈念する式典」を開催します。

当日は、静岡市静岡仏教会主催の慰霊法要に続き、静岡市主催の追悼式典を実施します。

【趣旨・背景】

静岡市では、先の大戦で亡くなられた方々を追悼し、平和を祈念するため、毎年8月15日に慰霊行事を実施しています。

戦争体験者が減少する中、戦争の記憶や平和の大切さを次世代へ継承することが重要となっています。本式典では、小中学生による献灯・献花や「平和へのメッセージ」の上映を通じて、市民の皆さまが平和について考える機会を提供します。

【開催概要】(申込不要、参加無料。どなたでも参加できます)

日時:2026年8月15日(土曜日) 10時~12時

(第1部 慰霊法要 10時~、第2部 戦没者を追悼し平和を祈念する式典 10時30分~)

会場:グランシップ 中ホール(駿河区東静岡二丁目3番1号)

第1部 慰霊法要(主催:静岡市静岡仏教会)

- ・先の大戦における戦没者の冥福を祈り、慰霊法要を執り行います。
- ・戦没者のひ孫世代にあたる市内の小中学生4人が献灯・献花を行います。

第2部 戦没者を追悼し平和を祈念する式典(主催:静岡市)

- ・戦没者を追悼するとともに、恒久平和への願いを新たにするため、静岡市戦没者を追悼し平和を祈念する式典を開催します。
- ・ホールにて、小中学生による「平和へのメッセージ」を上映するほか、会場ロビーにて、平和に関する作品や作文、静岡・清水空襲の体験画を展示した平和祈念パネル展を実施します。

※気象状況等により式典を中止する場合は、当日6時までに市ホームページでお知らせします。

(URL <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s3247/s003056.html>)

【取材について】

- ・事前の連絡は不要です。グランシップ中ホールロビーの報道用受付へお越しください。
- ・慰霊法要及び追悼式典の撮影は、舞台袖または客席内通路からお願いします。舞台祭壇前への立ち入りはご遠慮ください。
- ・会場内でのフラッシュ及びワイヤレスマイクの使用はご遠慮ください。
- ・報道機関用の駐車場はありません。車でお越しの場合は、近隣の民間駐車場をご利用ください。

【問い合わせ先】

観光文化・市民局 市民自治推進課(静岡庁舎15階) 担当者:大石、田中 電話:054-221-1265

【別紙資料等】

有(「追悼式典資料」「平和へのメッセージ 発表校紹介」「式典概要」)

●混線の可能性があるので、ワイヤレスマイクの使用はおやめください

●式典開催中は、ホール内での携帯電話の御使用は控えください。

令和8年度 静岡市 戦没者を追悼し平和を祈念する式典

日時：令和8年8月15日（土） 式典：10:00～12:00

会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」中ホール・大地

【第一部】 慰霊法要 （主催：静岡市静岡仏教会）

10:00～10:20

開式のことば
導師入場
合掌礼拝
献灯献花
大導師^{かんじょう}勧請
脇導師^{かんのんげ}焼香
観音偈〔焼香〕
回向^{えこう}

戦没者のひ孫にあたる
小中学生4名が祭壇に
灯と花を供えます。

【慰霊法要の撮影について】

献灯献花は客席に背を向け祭壇に向かって動きます。遺族代表謝辞は客席に向かって話します。舞台袖または客席通路等から撮影可能です。

遺族代表謝辞 ^{たけだ}武田 ^{かつこ}活子 静岡市静岡遺族会常任委員
合掌礼拝
導師退場
閉式のことば

【遺族代表謝辞 囲み取材】

第二部終了後、舞台裏手出演者溜で武田さんがインタビューに応じます。（市職員が立ち会います）

〔休憩〕舞台転換

10:20～10:30

【第二部】 静岡市戦没者を追悼し平和を祈念する式典 （主催：静岡市）

10:30～12:00

開式のことば ^{すみくら}隅倉 ^{まさかず}正員 静霊奉賛会静岡市支部副支部長
国歌斉唱

静霊奉賛会については、最終ページに資料があります。

式辞 ^{なんば}難波 ^{たかし}喬司 静岡市長（静霊奉賛会静岡市支部長）
追悼の辞 ^{すずき}鈴木 ^{やすとも}康友 静岡県知事（代理）^{すずき}鈴木 ^{としみ}寿美 静岡県健康福祉部長代理
^{たんざわ}丹沢 ^{たかひさ}卓久 静岡市議会議長
^{うんの}海野 ^{こうじ}耕司 静岡市静岡遺族会常任委員

【登壇者の撮影について】

式辞、追悼の辞、献花は、客席に背を向け祭壇に向かって行います。舞台袖から撮影可能です。

電文披露
来賓献花
平和へのメッセージ／映像発表（長田北小学校、清水岡小学校、籠上中学校）
黙とう
閉式のことば ^{なかむら}中村 ^{みつる}満 静霊奉賛会静岡市支部理事
＊来場者献花

【追悼の辞 囲み取材】

第二部終了後、舞台裏手出演者溜で海野さんがインタビューに応じます。（市職員が立ち会います）

フラッシュ撮影禁止

平和へのメッセージ 発表校

映像 発表

【静岡市立 長田北小学校】

長田北小学校の6年生は、静岡市平和資料センターのご協力により、太平洋戦争における静岡の空襲被害について学びました。紙芝居による講話を通して、戦争の恐ろしさや平和の尊さを改めて感じ、今の自分たちには何ができるのかを考え、その思いをメッセージにまとめました。式典では、代表者3名が発表します。

6年 うえだ みお
植田 滯さん

いなはら りょうすけ
稲原 亮介さん

ながおか きさ
長岡 希咲さん

1階ロビーに、6年生のメッセージを展示します。

【静岡市立 清水岡小学校】

清水岡小学校の6年生は、地域に在住している戦争を体験した方々に当時の悲慘な出来事をお話いただきました。想像を絶する話から「平和」の大切さを実感することができました。そして、恒久の平和への願いを強くもつことができました。式典では、代表者3名が発表します。

6年 ちば ゆきな
千葉 雪菜さん

おいかわ けいご
及川 圭剛さん

はまおか りお
濱岡 莉央さん

1階ロビーに、6年生のメッセージを展示します。

【静岡市立 籠上中学校】

籠上中学校の3年生は、身近な人から戦争の体験談や語り継がれた経験を調べ、戦争の被害と当時の人々の暮らしへの影響について学びました。身近な人の体験から、「戦争の悲惨さ」を学び、平和の尊さを実感するとともに、「過酷な状況を生き抜き、命を繋いでくれた先人たちへの尊敬と感謝の気持ち」を持ちました。その感想をメッセージにまとめました。式典では、代表者3名が発表します。

3年 きし
岸 こはるさん

いとう れな
伊藤 怜那さん

あまの しゅうや
天野 柊也さん

1階ロビーに、6年生のメッセージを展示します。

静岡市戦没者を追悼し平和を祈念する式典 資料

先の大戦において亡くなられた方々を追悼し平和を祈念するため、静岡市では毎年8月15日に慰霊行事を実施しており、令和8年度で72回目となります。

※当式典では、軍人・軍属及び準軍属のほか、外地において非命にたおれた者、内地における戦災死没者等を含む先の大戦において亡くなられた方々を戦没者として追悼します。

静岡市の戦争被災状況

1 戦没者（軍人・軍属等）

静岡地域	約 11, 000	はしら 柱
清水地域	約 4, 400	柱
蒲原地域	約 230	柱
由比地域	約 436	柱
合計	約 16, 066	柱

2 戦災死者（空襲等による死者） ※調査機関・資料により差異があります

旧静岡市＝1,813 人 旧清水市＝351 人 （経済安定本部総裁官房企画部調査課 1949 年調査）

慰霊行事の見直しについて

平成28年度に大幅な見直しを行い、「戦争犠牲者の追悼」「ご遺族をねぎらう」「恒久平和を祈念する」ことに加えて「過去の戦争の教訓を次世代に伝える」ことを目的に据え、名称も「静岡市戦没戦災等戦争犠牲者追悼式」から「戦没者を追悼し平和を祈念する式典」に改めました。今後も遺族会など関係者と協議を進め、若い世代にバトンをつなぐ取り組みを進めていきます。

現在市内施設で実施している「戦争の教訓を次世代に伝える」取り組み

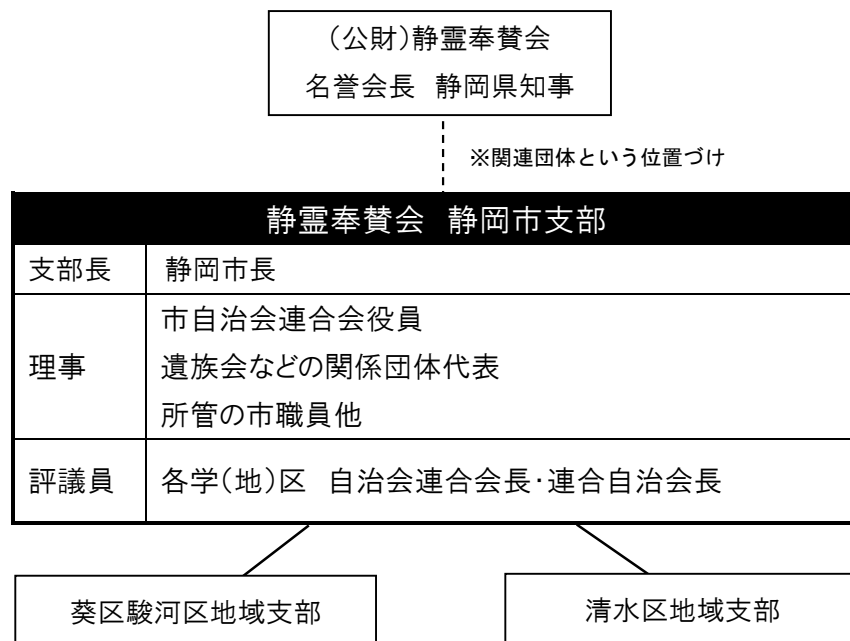
◇平和祈念パネル展：葵区・駿河区・清水区役所を巡回するほか、戦没者を追悼し平和を祈念する式典会場のロビーでも展示を行います。

◇「戦争と平和」の特集コーナー：児童書や写真集、一般書など「戦争と平和」に関する本の特集コーナーを、市立図書館で設置しています。

静霊奉賛会

県知事並びに県内全市町村の長等が発起人となり、全県民を会員として、昭和 27 年 8 月、戦没者・戦災死没者の慰霊ならびにその遺族等の援護を目的とする財団法人静霊奉賛会が設立されました。会長には県知事が就任。その後平成 25 年 4 月に公益財団法人静霊奉賛会へと移行し、県知事は名誉会長となりました。

静岡市においては、昭和 28 年 4 月に、静岡市長を支部長とする静岡市連合支部が発足、現在は静霊奉賛会静岡市支部と称し、(公財)静霊奉賛会の関連団体として独立した組織になっています。静岡市支部の目的は、戦没者等の慰霊及びその遺族等の援護で、追悼式への参加や実施、各地区・団体の慰霊祭参加等を行っています。市支部のもとに葵区駿河区地域支部、清水区地域支部をおいています。



慰霊法要

慰霊法要は静岡市静岡仏教会が主催し執り行っています。静岡仏教会には約 200 の寺院が参加しており、2 年ごと各宗派が持ち回りする形で実施しています。令和 8 年度及び令和 9 年度は、浄土宗が当番です。(会長：報土寺 住職 戸崎 博隆 師)